

市民の命・暮らしを守る市政に

新型コロナウイルス感染拡大が広がる中で市民の命と暮らしをどう守るか、問われています。

この間、議会で医療・福祉・保育・学校などに勤務する職員への新型コロナ対策のPCR検査や、希望する市民のPCR検査を求めてきました。

政府の新型コロナ対策は、自治体任せで医療機関への支援も進んでいません。国の政治を変えることも、市民の暮らしを守ることにつながります。市民と野党の共闘で、国の政治を変え住民の皆さんと力を合わせて、命・暮らし・福祉を守るためにがんばります。



プロフィール

- 1954年 磐田市中泉に生まれる。(66歳)
磐田市立第一中学校、磐田南高等学校、関西大学経済学部を卒業。
- 1974年 日本共産党入党。
○この間、親子映画や子ども劇場などの文化、教育活動を行う。
少年団や放課後児童クラブの指導員などをつとめる。
- 2000年 衆議院選挙静岡3区に立候補。
- 2001年 磐田西小学校PTA会長。
- 2003年 (旧) 磐田市議会議員に当選。
- 2005年 (新) 磐田市議会議員に当選。
○磐田民主商工会会長。
○磐田市議会総務委員会委員長、建設産業委員会委員長、広報広聴委員会委員長などを歴任。

■現在、磐田市議会議員(4期目)総務委員会委員、広報広聴委員会委員。
磐田生活と健康を守る会顧問、浜岡原発はいらない磐田の会世話人、浜岡原発訴訟原告、日本共産党磐田市委員会委員長。

■住所：〒438-0077
磐田市国府台(京見塚)648-1
電話・FAX (0538)32-2319
家族：妻、1男2女、(猫3匹)
趣味：落語鑑賞、スポーツ吹き矢、
手抜き料理、パン作り



生活相談地域

中泉・西貝・御厨
南御厨・田原・天竜
長野・於保・福田・竜洋

E-mail : t.takanashi2961@gmail.com



コロナ危機から
命と暮らしを守ります

日本共産党

磐田市議会議員

たか なし
高梨としひる

いわし民報

2021年春季号外

日本共産党磐田市委員会 磐田市加茂川通り6023-1
TEL : 0538-35-1013 FAX : 0538-35-2811

日本共産党磐田市委員会は政策と見解を発表しました。
ご意見、ご感想をお寄せください。

市民のみなさんと力を合わせ 実現できました

●高齢者の補聴器購入に市独自の助成制度を実現

市議会への請願署名など、多くの市民のみなさんの力が市政を動かし、市の助成制度が実現できました。市議会では党市議団が代表・一般質問などで、くり返し助成制度を求めてきました。

●中学卒業まで子ども医療費完全無料化

市議会の一般質問などでとりあげ、また、新日本婦人の会のみなさんなどの請願署名が力となり実現しました。

- 医療・福祉・保育・学校などに勤務する職員へのPCR検査の実施
- 75歳以上の人間ドックの助成
- 高齢者の自動車急発進抑制装置への補助
- 小中学校の普通教室へのエアコンの設置
- 就学援助の入学準備金を入学前支給に改善
- JR御厨駅にエスカレーターの設置
- 骨髄等の提供者に対し助成金を交付
- 若者相談窓口の設置
- 核兵器廃絶平和都市宣言に基づく平和事業の推進
- 期日前投票所をショッピングセンター2カ所に開設



国民平和大行進
(旧見付学校前にて)

しっかり発言、しっかり報告



- ◎市民の願いを実現するために、市議会の代表質問や一般質問で積極的にとりあげ、提案してきました。
- ◎毎週発行の「いわた民報」で議会報告。地域での懇談会を開き、市政へのご意見ご要望を伺っています。
- ◎JR磐田駅頭宣伝を22年間行っています。市政と国政について報告しています。
- ◎生活相談で、市民の暮らしを応援しています。

暮らしの願いを いっしょに実現しましょう

① 新型コロナ感染拡大を止める

社会活動を再開していくには、市民が安心して受けられるPCR検査センターを拡充し、本人の希望でだれもがPCR検査を何回でも受けられるよう求めています。また、市立磐田総合病院をはじめとした地域医療機関の支援に努めます。

② 中小企業や店舗のコロナ対策に助成を

中小企業や事業者に対し、空調、トイレなどコロナ感染防止対策にかかった経費を助成し、営業を支えています。コロナ収束が長引けば、廃業に追い込まれる業者が増え、雇用危機におちいります。家賃補助や消費税減税など事業と雇用への支援を求めています。

③ 高すぎる国保税の引き下げ

「国保税は高すぎて払うのが大変、なんとかしてほしい」という切実な声があります。国と県に支援強化を求めるとともに、市独自で「1世帯1万円」の引き下げを提案します。

④ 学校給食の無償化

世帯収入が伸び悩む一方、教育費は増加傾向です。保護者の経済負担を減らし、子育て支援策として学校給食の無償化の実現をめざします。

⑤ 公共交通の充実を

市内の路線バスが次々と廃止、減便される中で利用者は困っています。高齢化により免許返納が進むなか、市のコミュニティバスの運行、デマンド型乗合タクシーの改善・拡充を求めています。また、JR御厨駅のバス路線の乗り入れの実現に努めます。

⑥ 浜岡原発は止めたまま廃炉に

東海地震の震源域の真上に建つ浜岡原発は、世界一危険な原発です。再稼働を許さず、廃炉を求めます。自然エネルギーに転換し、即時原発ゼロをめざします。

⑦ 市民の声を反映した市民文化会館跡地利用を

磐田市民文化会館、文化振興センターの跡地利用については市民の声を反映した計画を求めます。また、計画策定状況を市民に報告することを求めています。

日本共産党がめざす社会

日本共産党がめざす社会は、崩壊した旧ソ連や、中国などとは全く違う社会です。戦争や核兵器のない、自由と民主主義が保証され、人間の自由で全面的な発展が保障される社会です。中国の香港やウイグル自治区の人権侵害は国際問題であり許せません。日本学術会議への違法な人事介入は学問・言論の自由を奪うものです。憲法9条を守り、自由や平和のためにがんばります。(高梨としひろ)